

新庄市議会  
議長 下山 准一 様

新庄市長 山 尾 順 紀

「市政に対する市民からの要望・提案」への回答について

**【 総合政策課 】**

■循環バスについて

- ①現在山交バスは子供の通学用に特化され、一般者が利用できる状況ではなく、鳥越地区は運行していない。循環バスで公共交通空白地域をカバーできるよう運行することは出来ないのか。  
(鳥越公民館)

**【回答】**

循環バスにつきましては、市街地の商業施設や医療機関といった主要な目的施設への周遊性の確保と、市街地における交通の利便性の向上を目的に、平成30年11月にまちなか循環線として運用を開始したバス路線です。現在、市内に点在する公共交通空白地域につきましては、平成29年度に策定いたしました「新庄市地域公共交通網形成計画」に基づき、解消に向けた検討を行うこととしており、地域の方々との話し合いの場を設けながら、その地域の実情に合った移動手段の確保に向けて検討を進めてまいります。

■定住促進について（※「保育の充実」については子育て推進課で回答）

- ②定住促進を図るために、保育の充実や住居への補助などを更に進めるべきではないか。(鉄砲町公民館)

**【回答】**

市では、若者の市内への移住・定住促進を目的に、平成29年度から「新庄市若者世帯住宅取得助成金事業」を開始しており、子育て世帯、新婚世帯、移住世帯といった諸要件に該当する若者世帯を対象に新築の戸建て住宅、建売住宅、市の空き家バンクに登録されている空き家を購入した際に、住宅購入に係る費用の一部を助成しております。平成29年度は16件500万円、平成30年度は22件660万円の助成実績となっております。今後も運用面について、より効果的な方策となるよう検討を進めてまいります。

保育を含む子育て支援につきましては、国が策定した「子ども・子育て支援法」に基づき、平成27年度からの5か年計画で策定した「新庄市子ども・子育て支援事業計画」に則り、事業を進めてまいりました。今年度、その計画の検証を行うとともに子育て世帯を対象としたニーズ調査の結果を基に、令和2年度からの新たな計画を策定しているところです。

子育て世帯を取り巻く環境は、核家族化や女性就労者数の増加など大きく変化しているとともに、子育てに不安感や負担感を抱く家庭や支援を必要とする家庭が増加していることから、子育てに関する支援も多岐に渡っております。これまで、次期計画である「第2期 新庄市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、市民の皆さんのご意見をいただくとともに、関係各課とも調整を重ねながら具体的な施策を検討してまいりました。

保育事業につきましては、通常保育や延長保育、一時保育などのほか、第3子以降の保育料免除事業、幼児教育・保育の無償化の対象外である児童館・児童センターの利用料免除事業、併せて市独自の第3子以降の保育料免除対象児童の副食費免除事業などを実施しております。公立保育所におきましては、障がいのあるお子さんにはできる限り保育士の加配を行い、就学に向けての支援を行うとともに、民間の保育園で受け入れた場合にはその保育園への財政的支援を行っております。さらに、養護教諭の資格を持つ職員が幼稚園・保育所等を訪問し、障がいのあるお子さんやそのご家庭への支援、就学に向けての助言や医療機関等の情報提供などを行っているところです。

その他、地域子育て支援センターを設置し、食事や育児方法に対するストレスなどの子育てにかかる負担感や不安感を軽減できるような助言や指導を行っております。

課題といたしましては、2所ある公立保育所の老朽化や放課後児童クラブの利用希望の増加への対応、遊び場の確保などがございますが、今後も子育て支援の充実に向けて、住民の皆様のご意見をお聞きしながら検討してまいります。

#### ■看護師養成校について

③購入した用地はどのように活用するのか。(萩野地区公民館)

#### 【回答】

看護師養成所開設準備事業の中止に伴い、当該事業で取得した用地の活用等について、新たに活用等検討委員会を設置し、協議、検討を進めてまいります。

#### ■出前講座について

④スマホなどICTについての出前講座を開いていただけないか。(萩野地区公民館)

#### 【回答】

スマートフォンの使用方法等につきましては、あくまでも個人による使用であり、メーカーや機種により使用方法が異なったり、個人個人で使用用途(目的)が異なったりすることが想定され、個人毎の対応にならざるを得ない内容でございますので、行政の出前講座として開催することは難しいと考えております。

#### ■使送について

⑤回覧板の総部数が多い現状であり、区長の負担軽減の面から必要最低限の内容作成は出来ないのか。(北町公民館)

#### 【回答】

市からの配布物については、年間計画を立て、必要最低限の配布物の配布に努めているところ

です。

各課で提供したいイベントや行政情報が多くあり、特にお知らせしたい内容や市報に掲載できなかった内容につきましては、回覧などの紙面による周知させていただいております。区長さんにはご負担をお掛けしておりますが、配布物の数量削減については今後も継続して行なってまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

## 【 環境課 】

### ■災害時の対応について

⑥水害と地震と一緒のハザードマップの作成をしてはどうか。(川西町公民館)

### 【回答】

水害と地震の災害情報を一緒にすることは、情報量が多くなり分かりにくくなるなどの問題もございますが、今後の防災啓発の手法の一つとして検討してまいります。

⑦旧ゲートボール場の利活用など実際の災害を想定し、避難場所の再考が必要ではないか。(川西町公民館)

### 【回答】

旧ゲートボール場施設はかなり老朽化していることから、避難所としてはもちろん避難場所としても適切ではないと考えております。旧ゲートボール場前のスペースであれば、避難のための集合場所などで利用できる可能性はございますが、旧ゲートボール場を所管する部署におきましても該当箇所を不特定多数の人が利用することを想定しておりませんので、指定避難所または指定緊急避難場所として指定することは困難であると考えております。

### ■消防団について

⑧自主防災組織立ち上げの予定をしているが、同じ地域に複数の消防団を抱える課題や消防団団員数の減少の課題もあり、消防団の再整備をお願いしたい。(鳥越公民館)

### 【回答】

自主防災組織と消防団につきましては、活動の命令系統が異なりますので、構成員につきましても重複が望ましいものでないことは、周知させていただいております。(発災時、消防団は団長指揮の元で活動が命じられますので、地元町内での活動を行うことができない状況も考えられます。)

また、消防団に関する課題につきましては、抱えている問題について個別にご相談いただき、再整備が必要であるか内容を精査した上で、団としての方向性を決定することになります。

### ■除排雪について

⑨国道沿いの消火栓(山形丸魚前と小松フォークリフト前)が冬期間雪で埋もれており、緊急時の対応出来なくなる恐れがあるので点検してほしい。(鳥越公民館)

### 【回答】

消火栓の管理につきましては、消防団の予防活動の一つとなります。ご要望の件につきまして

は、担当分団に確認し、適切な管理を求めてまいります。

■防犯委員について

⑩防犯委員など関連活動費に対する市の補助金増額をお願いしたい。(北町公民館)

【回答】

適切な補助金額か精査した上で、増額等の検討を行ってまいります。

■空き家対策について (※ 都市整備課で回答)

⑪年々空き家が増加しているのので空き家対策を強化してほしい。(北町公民館)

【回答】

近年増加している空き家の中には、適正に管理されず周辺へ悪影響を及ぼす空き家も生じてきております。老朽化による倒壊などで周囲に被害を与える以外にも、防火、防犯、防災、衛生、景観など様々な点において、住民の生活に深刻な影響を及ぼすものと考えております。

市では、平成30年3月に「新庄市空き家等対策計画」を策定し、以下の4つの方針を掲げて空き家対策の推進を行っております。

- ①住民の意識の向上による空き家の発生予防【予防】
- ②所有者等による空き家の適正な管理【管理】
- ③空き家・空き地の流通促進【利活用】
- ④管理不全空き家対策【除却等】

今後も空き家の数は増加することが予想され、問題は一層深刻化することが懸念されますので、それぞれのケースにあった具体的対策を検討しながら対応してまいります。

【 成人福祉課 】

■民生委員について

⑫現在6地域(小泉、梅ヶ崎、中山、一本柳、月岡、小月野)で一人は少ない。高齢者が増え、巡回しやすいように地区に於いても協力するので3地域で一人を置くなど増員することは出来ないのか。(小泉公民館)

【回答】

現在、市では68名の方が民生委員・児童委員、8名の方が主任児童委員として市民の福祉向上のためにご尽力いただいておりますが、市の定員数は81名であるため、5名が欠員となっている状況です。

民生委員・児童委員の定数につきましては、厚生労働省より「民生委員・児童委員の定数基準」に基づいて設定することとされておりますが、地域の実情としましては人口や世帯数、住民の生活の様式など様々な変化があり、区域の設定を含めて見直しの時期にきていると考えております。

今後、地域の連携のしやすさなどに配慮しながら、実状に合った形の見直しを検討してまいりたいと考えておりますが、なり手不足の現状もございますので、地域の方のご意見を十分伺いながら協議してまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

■ボランティアの協力体制について

⑬台風19号で被災した地域の復興の為に、民間ボランティアが活動しやすいようにワンストップ対応（窓口対応等）できるような協力体制をお願いしたい。（関屋公民館）

【回答】

ボランティアの受付は新庄市社会福祉協議会で行っておりますが、ワンストップ対応については協議会と連携してまいります。

【 健康課 】

■温泉について

⑭市内に温泉がない。今後どのような動きがあるのか教えてほしい。（升形公民館）

【回答】

現在、本合海地区新庄温泉地内に、民間事業者がサービス付高齢者向け住宅の建設を進めておりますが、建物につきましては昨年12月に完成し、施設への入居は3月から4月頃を予定しているとのことです。

施設内の入居者用の温泉浴場を一般開放する計画があると伺っておりますが、県及び最上保健所での手続きが必要となり、申請から1カ月程度かかるようです。また、温泉の一般開放につきましては、水量の確保を伴う工事が必要なため、入居後の水道使用量の把握ができてからになるようです。オープン時期は未定です。

【 農林課 】

■農業振興について

⑮8月に大きな災害もあり、大きな被害を受けた農家のために、しっかりと寄り添い、大規模農家だけではなく、家族型農家の小さな農家の話しを聞き、地域の実情に合った農業振興をお願いしたい。（小泉公民館）

【回答】

災害の復旧に関しましては、発災当初より農家の方々からの声を受け、迅速に復旧対応を行っております。また、実情に即した農業振興に関しましては、地区・地域に出向き、大規模農家のみならず中小規模農家、家族的経営農家、自給的農家の方々と話し合いを通じ、農協等関係機関と連携しながら進めてまいります。

【 商工観光課 】

■新庄まつりについて

⑯祭りを通じて経済効果が増加しているとのことだが、その恩恵が感じられない。今後のまつり継続のために、ふるさと納税からの繰入増額やスポンサー制度導入などによる寄附金など更なる支援強化を考えていただきたい。（末広町公民館）

【回答】

ふるさと納税の充当先は寄付者の意向に合わせたものとなっておりますが、寄付額は毎年変動があるため、一定額を将来に渡って継続して毎年充当することは難しいと考えております。

新庄まつりは神事であり、また、企業スポンサーによるものではなく市民一人一人の気持ち・ご祝儀によって作り、育てられ、守られてきたからこそ 260 年もの間続いてきたものと思われま  
す。過去には企業による山車もございましたが、それが長く続かなかつたように、企業に頼るこ  
とは継続にはつながらないのではないかと考えております。

以前は 30 万円だった山車若連への交付金を平成 28 年度から 50 万円に増額しており、令和 2 年  
度からは山車保管施設への補助拡大も検討しているところでもあります。今後も、様々な形での支  
援強化を検討してまいりたいと考えております。

## 【 都市整備課 】

### ■道の駅について

⑰「道の駅」の実現化に向けての進捗状況はどのようになっているのか。(小泉公民館・萩野地区  
公民館)

### 【回答】

道の駅につきましては、昨年度、本市における道の駅の基本的な方針を示す「新庄市道の駅基  
本構想」を策定したところですが、今年度に入ってから、県が中心となった「もがみ創生 北の  
ゲートウェイプロジェクト検討会」が設置され、最上地域全体で高速道路の整備効果を最大限に  
波及させることのできるような施設の検討を始めております。

### ■除排雪について

⑱高齢者の為にも丁寧な間口除雪を県道・市道を問わず行ってほしい。(鉄砲町公民館・末広町公  
民館)

### 【回答】

自力で除雪が困難である高齢者に対する間口除雪の配慮につきましては、毎年、成人福祉課(民  
生委員及び区長より申請、今年度は 25 件該当)で受け付けして、市道除雪委託業者へ指示してお  
ります。

また、県道につきましては、これまで具体的な要望はございませんが、今後、要望があれば県  
道管理者である山形県へ要望してまいります。

### ■道路整備について

⑲「一本柳・檜葉沢線」は地域から土地を提供して出来た道路だが、整備に対して優先順位が低  
く、進んでいない状況である。前市長からの約束でもあり、10mでも市道整備を早く進めてほ  
しい。(小泉公民館)

### 【回答】

現在、2 路線について新規道路整備を行っており、一本柳・檜葉沢線につきましては、現在進  
行中の工事が完了した時点で、再度事業着手について検討してまいります。

⑳県立新庄病院を建設した後、通学路である「山屋街道」(市道)整備をどのように行うのか。(関  
屋公民館)

**【回答】**

県道曲川新庄線の道路改良整備計画におきましては、国道13号交差点付近の市道一部拡幅の計画はございますが、先の市道につきましては、現在のところ整備計画は未定であります。

今後、交通量の変化に注視し、道路整備計画に反映してまいります。

②県道（金沢通り）の歩道下などに土砂やゴミが溜まっているので、掃除などの水路管理を徹底してほしい。（鉄砲町公民館）

**【回答】**

県道の水路管理につきましては、道路管理者である山形県に要望してまいります。

**■河川について**

②今後の大洪水を回避する為に、新田川堤防の修繕や嵩上げをお願いしたい。（鳥越公民館）

**【回答】**

河川改修につきましては、河川管理者である山形県に要望してまいります。

③新田川の橋への歩道整備の検討はどのようになっているか。（鳥越公民館）

**【回答】**

これまでの要望の経緯が確認出来ない状況にあり、現時点では整備計画は未定であります。

④8月の台風後、流木が放置されているので、安全の為に早めの撤去をお願いしたい。また、川底の修繕や支障木の撤去については、県主体だが、対応が遅れている場合は住民で対応できないのか。（関屋公民館）

**【回答】**

流木の除去につきましては、河川管理者である山形県に要望してまいります。なお、修繕等につきましては、作業内容により異なりますので、個別に市にご相談いただければ県に確認いたします。

**【 上下水道課 】**

**■水道事業について**

⑤水道料金の減額をお願いしたい。（北町公民館）

**【回答】**

水道料金につきましては、平成26年4月にメーター使用料を廃止し、平成27年5月使用分より11㎡～20㎡までの使用水量を1㎡当り25円引き下げるなど、市民サービス向上の視点に立ち、料金改定を行ってまいりました。

しかし、平成28年度決算では純損失（赤字）を計上するなど、人口減少により水道料金収入が減少する中、厳しい経営状況となっており、今後、老朽化した施設の更新費が増えていくことから、さらに厳しい経営状況となることが見込まれております。

水道事業は、水道を使用する皆さまからいただく水道料金で経営される独立採算制の公営企業

であり、このような状況の中、現在よりさらに水道料金を減額することは困難であると考えております。

今後も安全・安心な水道水を皆さまにお届けするため、業務の効率化や施設の統廃合など、さらなる経営努力を行ってまいりますので、今後とも、水道事業運営にご理解くださるようお願いいたします。

## 【 教育総務課 】

### ■八向地区小中学校について

②⑥八向地区における小中学校のあり方についての指針を示してほしい。(升形公民館)

### 【回答】

八向中学校区では、他中学校区と同様に小中一貫教育の研究と実践が長く続けられており、また小規模な地域ということもあって3校の小中一貫教育に係る連携が充実し、学区域にも深く浸透しております。

しかしながら、本中学校区の児童生徒数は、他地域に比較してその減少率が高く、令和2年度にも中学校区全体の児童生徒数が100人を下回る予定であり、以降も減少が続くことが想定されることから、今後の学校のあり方につきましては、他の中学校区との統合も視野に入れながらの検討をしていかなければならないものと考えております。

このようなことから、平成30年に策定した「新庄市立学校施設整備計画」における本中学校区の整備の方向性として、以下の3つの方向性を示しながら、地域住民の方を含めた検討・協議による方向付けの整理が必要であるとしております。

- 1 構成3校の小規模小中一貫教育校（小規模の義務教育学校）化
- 2 構成3校の新庄中学校区義務教育学校への合併
- 3 構成3校の新庄中学校区及び日新中学校区義務教育学校への分割合併

いずれにしても、上記の方向付けの協議に相当の時間が必要と考えられますので、現段階の学校施設整備計画におきましては、3校の長寿命化改良を図っていく計画としております。

## 【 社会教育課 】

### ■公園整備について（※ 都市整備課で回答）

②⑦地域の協働をするために努力は惜しまないので、年次計画を含めた鳥越八幡公園の再整備をお願いしたい。(鳥越公民館)

### 【回答】

地域や関係者の皆様に、再整備のあり方について相談させていただきたいと考えております。

### ■マラソン大会について

②⑧ハーフマラソン大会の参加者の減少の理由をどのように考えているのか。街の中心を走ってもらえれば参加者が増えるのではないか。(北町公民館)

### 【回答】

3回目の大会を終了しました「新庄いものこハーフマラソン大会」の参加者につきましては、エ



ントリー開始後、インターネットでのエントリーを中心に順調に伸びておりましたが、最終的なエントリーについては812名（実走者693名）と、前年の834名より若干少ない結果となりました。

事務局といたしましても、6月より十分なエントリー期間を設定し、市内はもとより県内外の体育施設や道の駅等商業施設を中心にリーフレット（申込書）やポスターの配置を行い、市広報はもちろんのこと、フリーペーパー等を活用した広報活動や、春先から始まる県内各地のマラソン大会に直接出向きエントリーを呼びかけたほか、エントリー期間後半には、テレビコマーシャルを入れるなど、積極的な広報活動を展開してきたところであります。

近年、県内及び近隣県においては、スポーツシーズンに目一杯様々なマラソン大会が開催される中、新規参入の大会は開催日の設定に苦慮しており、本市マラソン大会においても、少しでも参加者を取り込めるよう、県内の大会の日程調整を図り、現在の日程（10月第4週日曜日）に落ち着いているところであります。また、当市内は鉄道や国道に囲まれており、街中での十分な走行距離が確保できないほか、交通規制の関係もあり、街中でのコース設定は現実的に難しく、稲刈の繁忙期と時期をずらしたうえで、現在の開催日の設定となった経緯もございます。

このような現状を踏まえ、年度当初からの専用ホームページ等での情報発信等、積極的な広報活動を通し、一般市民や管内の小中学校児童生徒の参加者増に努めるほか、参加者へのおもてなしをはじめ、内容につきましても見直しや工夫を重ね充実を図り、参加者の健康増進と地域の賑わい創出に繋げてまいりたいと考えております。

#### ■八向地区公民館の改築促進について

㊸早期の改築をお願いしたい。（北町公民館）

#### 【回答】

八向地区公民館の改築につきましては、平成31年度のコミュニティ助成事業を活用し、地域公民館として整備すべく進めておりましたが、助成事業の採択要件に合致しないことが分かり、地域公民館としての改築は断念し、改めて地区公民館として市が整備することといたしました。

しかし、現在の土地は浸水想定区域となっていることから、本合海地域内の他の市有地に公民館を移転できないか、地元区長会の皆さんと話し合いの場を設けながら検討を進めているところです。

#### ■図書館について

㊹図書館の駐車場が狭いので、改善できないか。（市民プラザ駐車場が満車の時があり、利用できない場合がある）（萩野地区公民館）

#### 【回答】

図書館の開設以来、駐車場につきましては長年の課題となっておりますが、満車の場合はふるさと歴史センターの駐車場をご利用いただきますようお願いいたします。また、図書の返却ポストを他の公共施設にも設置したり、一回の貸出期間や冊数を増やしたりするなどの取り組みも行っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、冬期間の落雪対策として、融雪装置を設置する予定です。